



# 汐見の和

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561

FAX 045-754-6409

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>

横浜市立汐見台小学校  
令和4年9月26日  
学校だより10月号



## 汐小の絆～児童会テーマに寄せて～

学校長 犬塚 真

晴れた日の日差しはまだ強いものの、湿気の少ない空気には秋の気配を感じます。朝は門のところで子どもたちを迎えつつ、時折澄んだ空を見上げてはこの時期特有のすがすがしさを楽しんでいます。思い返せば、今年の9月は感染対策として分散登校が行われており、10月4日からようやく通常登校が再開されました。これらの影響もあり、昨年度は運動会を学年ごとのスポーツフェスティバルに変更しましたが、今年度は10月15日（土）に上大岡小学校をお借りして一昨年度と同様に実施できる見込みです。

さて、今年度の児童会テーマは「汐小の絆」です。5月から児童会の組織で話し合い、各クラスの意見も取り入れながら決めていきました。その後、テーマに合わせたキャラクターを募集し、全校投票の結果、右にあるような「きずわん」が誕生しました。



「絆」という言葉の辞書的な意味は「人と人との断つことのできないつながり・離れがたい結びつき」とありますが、子どもたちは友情や信頼関係、様々なつながりという意味でとらえているようです。

本校は校舎の建替え時期でもあるということから、過去と未来をつなぐ架け橋も大切にしていきたいと考えています。そのような取り組みとして、かつての敷地に生えていた竹を使った活動を展開しています。この取り組みに際しては、旧校舎を解体する業者の方が工事の合間を縫って70本以上の竹を切り出してくださったり、協力をお願いした竹材店の方が無償で竹を裁断してくださったりと、趣旨にご賛同いただいた方々に多大なお力添えを頂きました。PTAの役員さんにも当初の企画段階から期をまたいでご尽力いただいています。

夏休み前にこの竹を使った自由工作を募ったところ、300名を超える子どもたちから応募がありました。製作にあたっては、各ご家庭の皆様にもいろいろとご協力を頂いたことと思います。ありがとうございました。素敵な作品、ユニークな作品、私たちの発想では到底思いもつかないような作品がたくさん集まりました。今後は残っている竹材を活用し、新校舎で使ったり飾ったりするものを各学年で決めて製作していく予定です。

これからも様々なつながりを大切にしながら、子どもたちの心の育ちを支えていきます。ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

9月27日の代表委員会では、運動会で児童会テーマ「汐小の絆」や「きずわん」に活躍してもらうための応援グッズについて話し合います。児童会では、年間を通して「絆」が深まるような活動を計画しています。

10月4日（火）の朝会では、PTA会長の河辺様から応援グッズが贈呈されます。感染拡大防止の観点から大きな声での応援は控えなければなりません。その分工夫をして「汐小の絆が深まる」応援になるようにしていきます。

### ◆◆◆地域学校協働本部が設置されます◆◆◆

昨年度より設置を目指して準備を進めてきました地域学校協働本部が、10月1日に設置されることになりました。名称を「汐見台小学校地域学校協働本部」とし、より多くの保護者や地域の皆様等が参画しながら、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、学校を核とした地域づくりを目指していきます。今後は、学校地域コーディネーターが中心となり、学校教育ボランティアと連携して活動を進めていきます。学校だよりや学校ホームページ等で活動の様子を保護者や地域の皆様にお伝えいたしますので、ご覧ください。